

1 職業調べ

1. 題材設定の理由

生徒は家族の職業や仕事についてあまり知らない。実際に職場を見る機会が少ないことや、家庭での会話の時間が短くなってきていることなどが原因である。また、多くの生徒が将来の夢や希望をもっているが、まだ就きたい職業の具体的な内容を理解している生徒は少ない。これからいろいろな職業について理解させることや、働く意義や目的を考えさせることにより、正しい職業観を育てていきたい。

本時は事前に調べたり、体験したりした家族の職業を班や学級で発表させ、いろいろな職業の仕事内容や働く人の思いを理解させたい。

2. 指導のねらい

家族の職業について自信と誇りをもって発表し、また、いろいろな家族の職業の発表を通して、具体的な仕事内容やその職業に就いている人の思いを理解させる。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・家族の職業について、話を聞いたり、体験をしたり、仕事内容・時間帯・その職業に就いた理由・仕事を通しての喜びなどを調べておく。 ・学級通信や学年通信を通してこの進路学習の意義を伝え、協力を求める。
本時	・班や学級で発表し合い、感想をまとめる。

4. 留意点

厳しい社会環境のもと、保護者の中には、派遣社員やアルバイト、無職ということもありえる。また、一般的でない仕事に就かれている場合もある。教師として、そうした保護者の職業について事前によく把握し、また、生徒の悩みなどについてもよく理解に努める必要がある。

生徒が、この授業（進路学習）で肩身が狭い思いをしたり、家族の方に反感をもったりすることのないようにしたい。

<説話例> 「保健室の先生（養護教諭）の仕事」

わたしの友人に、小学校で保健室の先生（養護教諭）をしている人がいます。君たちもけがをした時や体調が悪くなった時に、保健室でお世話になったことがあると思います。養護教諭の先生はけがをした子どもの応急処置をしたり、健康診断などの準備をしますが、それ以外にもたくさんの仕事をしています。修学旅行や体験学習には一緒に行き、夜は寝ないで体調が悪い子の世話をすることがあります。運動会を行う時は、事前に健

康調査や事故が起きないように器具の点検をします。また最近では、精神的なストレスで体調不良を訴えて保健室にくる子や、不登校の傾向の生徒への対応や世話も増えてきたそうです。このように前より仕事が増えてきて、医学だけでなく心理学の勉強もしておられるそうです。夏休みはそのための研修会に参加されています。その先生は、けがなどで長い間学校を休んでいた子が元気に登校してきた姿を見た時、いちばんうれしさを感じるそうです。働くことは単に収入を得るだけでなく、様々な要因をもっているのですね。ですから、様々な職業を調べていくことが大切ですね。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・家族の職業や仕事について、調べてきた内容や感想を簡単に紹介できる。	◎各自が調べてきた内容や感想を簡単に紹介する。 調べた内容・職業 ・銀行員、会社員、教師、幼稚園教諭、保育士など。 ・デパートなどの販売員、商店や飲食店の経営など。 ・スポーツ選手、作家、芸術家など。 ・仕事場でのお父さんの顔は真剣で、別人みえたかった。 ・予想していたより仕事が大変そうであった。	・調べてきた内容や感想を教師が聞いて、おおまかな分類をする。 （事前に整理して提示してもよい） ・感想を簡単に聞き、本時の学習の興味づけをする。	・P.61
	課題：家族の職業について調べたことを話し合い、働く人の仕事に対する思いを知ろう。			
中心的活动	・家族の職業に自信と誇りをもって、具体的に紹介できる。	☆『どの仕事もなくてはならないものですね。私たちのために働いてくれる親の仕事に自信と誇りをもって、発表しましょう。』 ◎各自が調べてきた内容を具体的に発表する。 （班で） 【発表内容】 ・仕事の内容 ・その職業に就いた理由やきっかけ ・仕事に対する思い （苦勞、厳しさ、喜び、誇り、生きがい、働くとは） ・発表を聞いた人は、質問や感想を述べる。 （簡潔に） ◎学級で発表する。 （班の代表者や教師が指名した生徒が発表する） 【発表例】 設計事務所の建築士 ① 設計事務所で設計図をかく。以前は製図器具を使っていたが、今はコンピュータを使って設計図を作る。仕事の打ち合わせで、海外へ行くこともある。 ② 大学で学んだことを生かそうと考え、この職業を選んだ。建築物を見て、自分も設計してみたくなった。 ③ 自分が設計した建物を実際に完成した時や、仕事先の人から感謝された時、喜びを感じる。 ・発表を聞いた人は、質問や感想を述べる。	・発表をためらう生徒のために、家族の仕事に自信をもたせたい。 ・発表の仕方や聞き方を板書して、能率的に進めさせる。 ・時間の都合上、全ての班で発表するのは難しいと思われるので、発表させたい生徒には事前に話しておき、本時では2～4名の生徒を指名する。 ・2、3名の生徒に質問や感想を発言させて、発表内容を深める。	・発表用資料
まとめの活動	・家族の職業や仕事の内容、仕事への思いが分かる。	◎いろいろな職業の仕事内容を知り、その感想を書く。 ・どの職業も専門的な知識や技術が必要だと分かった。 ・売上目標などがあって、どの仕事にも厳しさがある。 ・自分の納得いく仕事ができ、お客さんに満足してもらった時がいちばんうれしいということが分かった。	・具体的な仕事内容だけでなく、苦勞や生きがい、働く人の思いなどにも注目させる。	・感想用紙